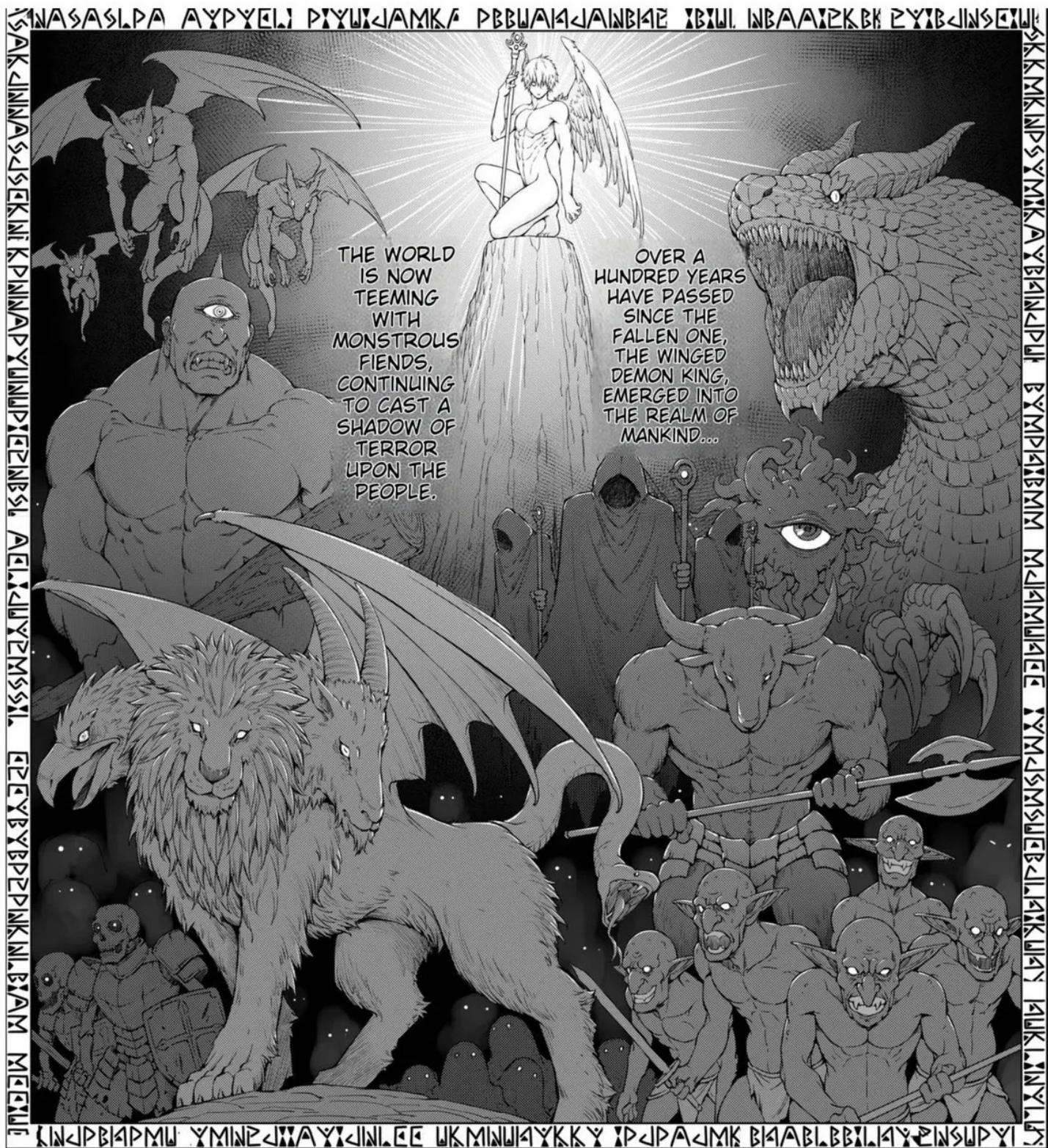




THE
SECRET
NIGHT
OF THE
KNIGHT
AND
THE
PRINCE

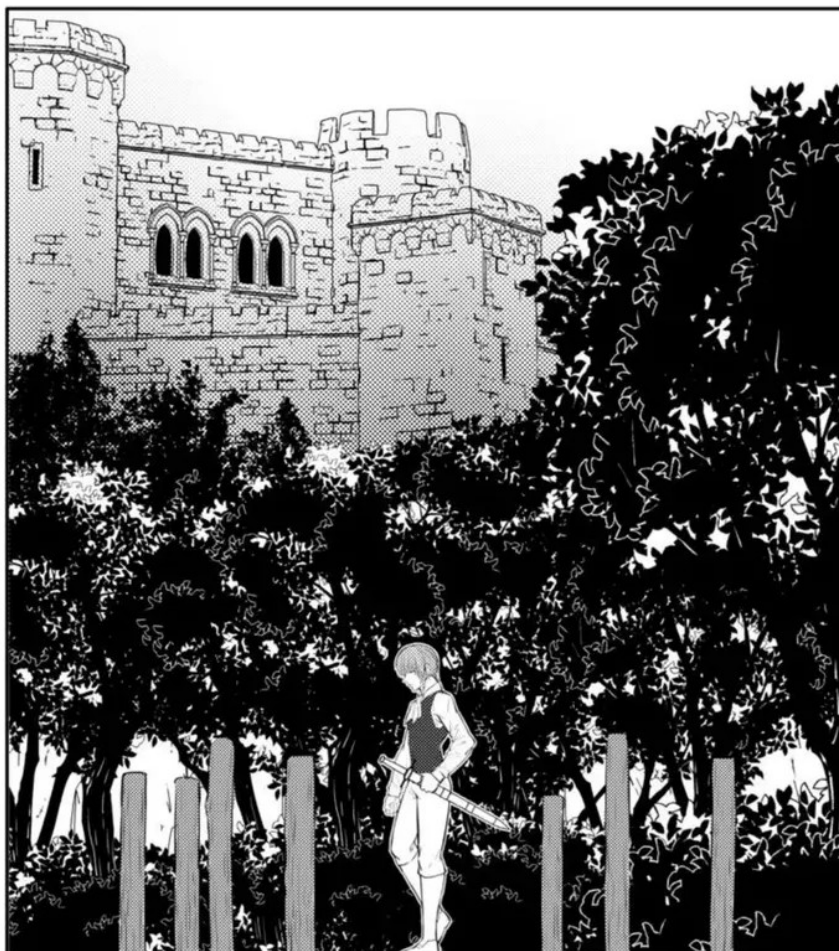


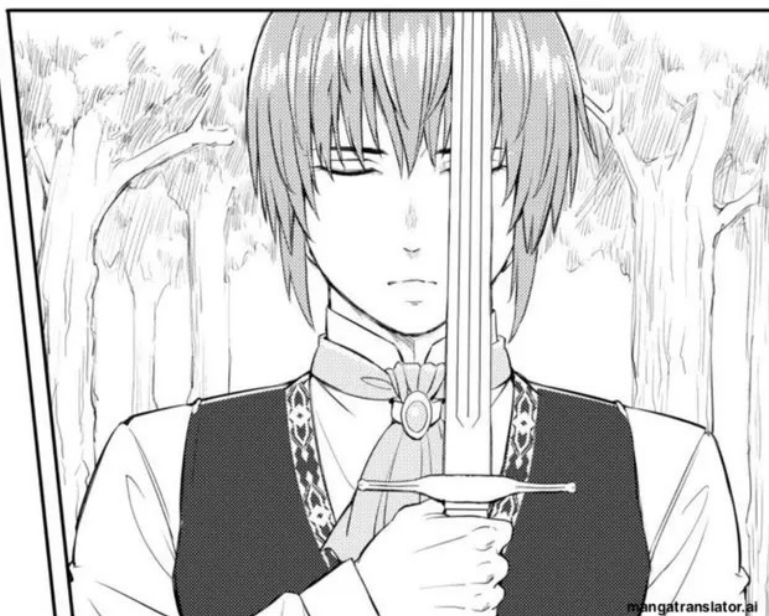
THE WORLD
IS NOW
TEEMING
WITH
MONSTROUS
FIENDS,
CONTINUING
TO CAST A
SHADOW OF
TERROR
UPON THE
PEOPLE.

OVER A
HUNDRED YEARS
HAVE PASSED
SINCE THE
FALLEN ONE,
THE WINGED
DEMON KING,
EMERGED INTO
THE REALM OF
MANKIND...

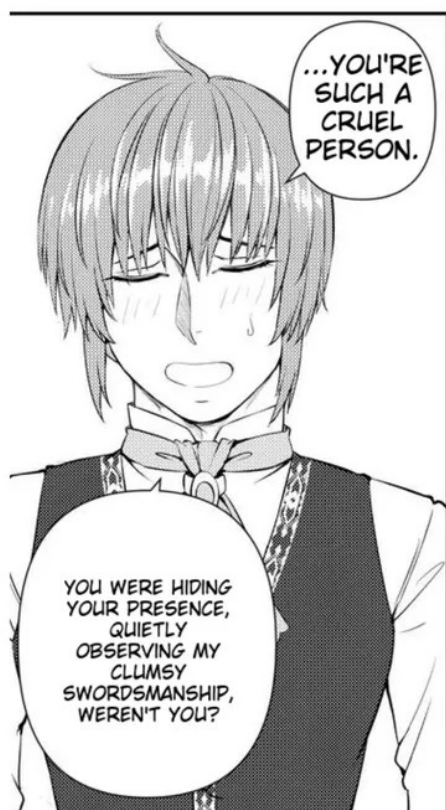
A
SINISTER
SHADOW
BEGINS
TO CREEP
CLOSER.

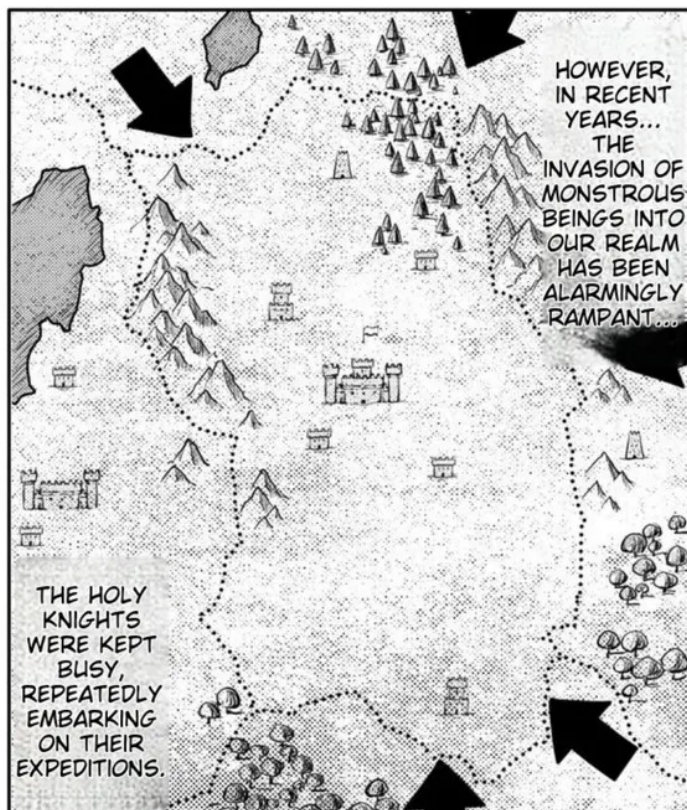
AND NOW,
IN A
SINGLE
KINGDOM...











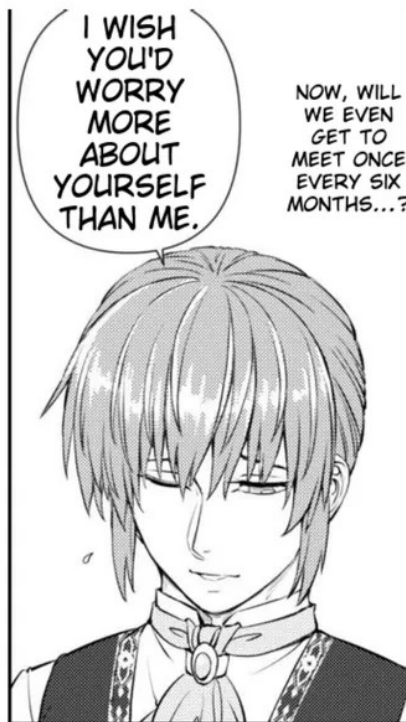


OF
COURSE.



WHEN
YOU
RETURN...

REGALE ME
WITH YOUR
TALES OF
ADVENTURE.



I WISH
YOU'D
WORRY
MORE
ABOUT
YOURSELF
THAN ME.

NOW, WILL
WE EVEN
GET TO
MEET ONCE
EVERY SIX
MONTHS...?



EIGHT YEARS
AGO... HE WAS
SUMMONED TO
THE ROYAL
CAPITAL AS MY
SWORDSMANSHIP
INSTRUCTOR.



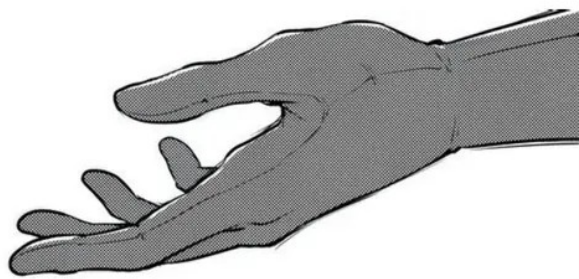
TO
YOUR
SIDE...

THIS
TIME, I
WILL
SURELY
COME
BACK
ALIVE...





THE
JOY
OF
LOVE



TO
REALIZE
IT'S
NOT
JUST
ABOUT
JOY...

...WELL,
IT
DIDN'T
TAKE
LONG,
DID IT?

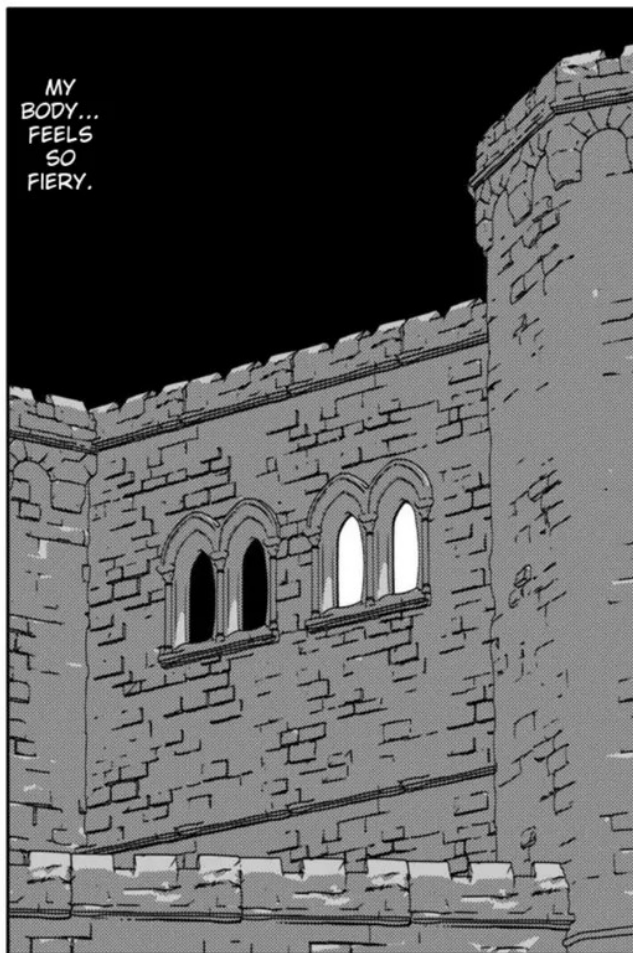




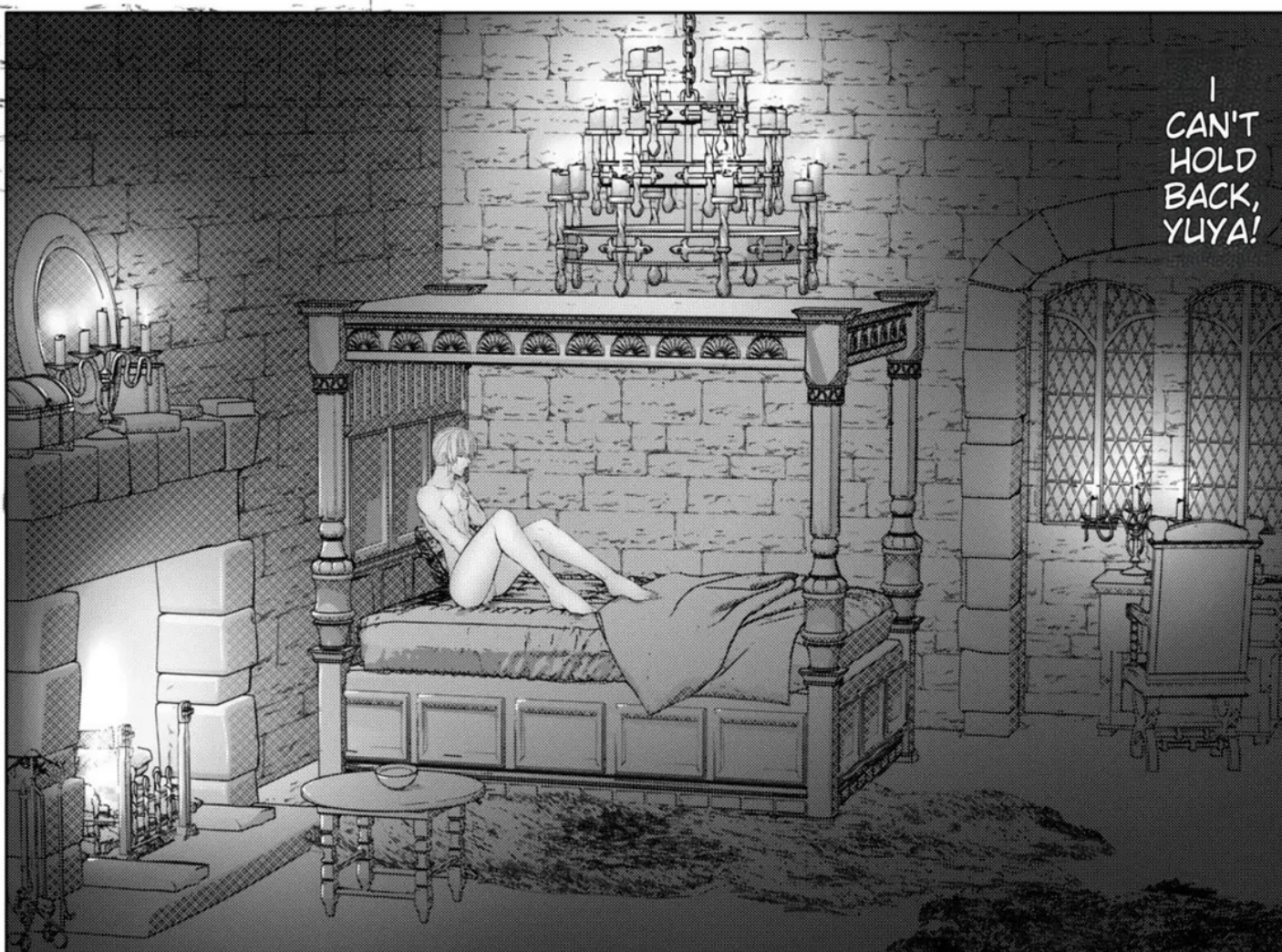
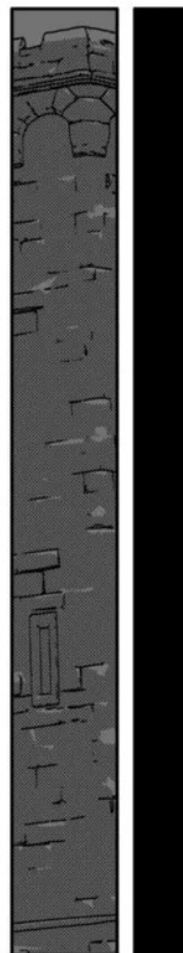
HE IS
OFF TO
BATTLE,
YET...



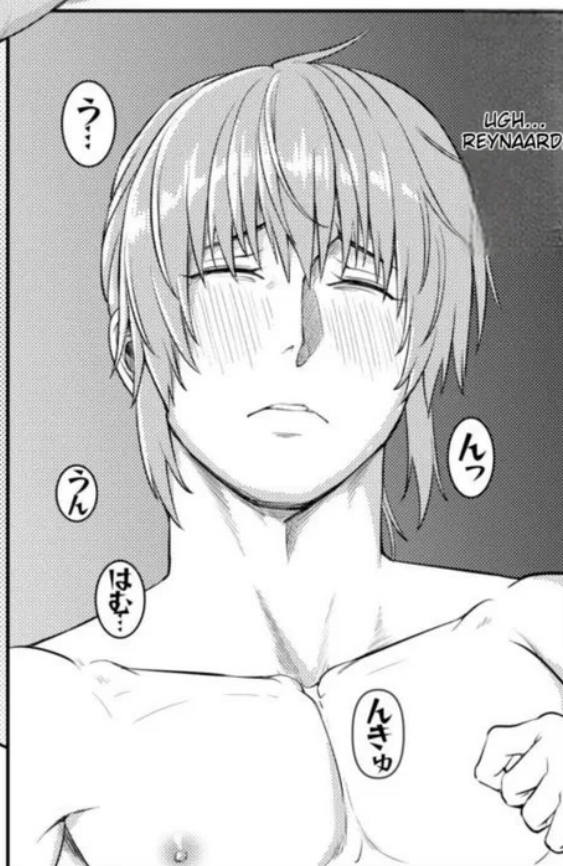
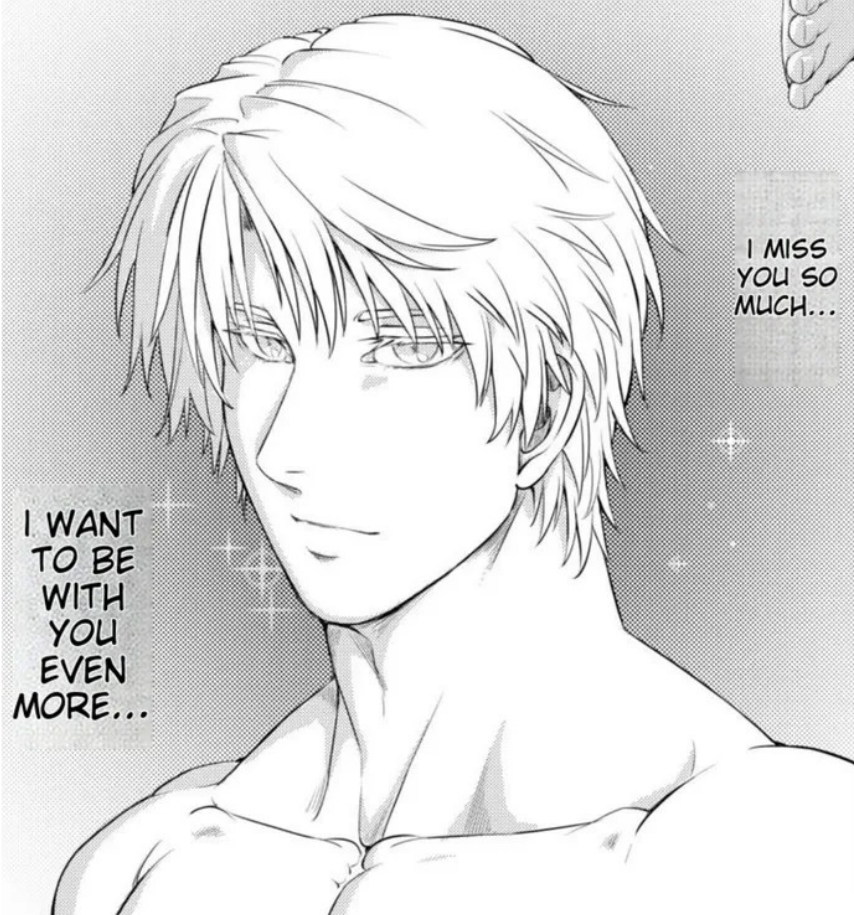
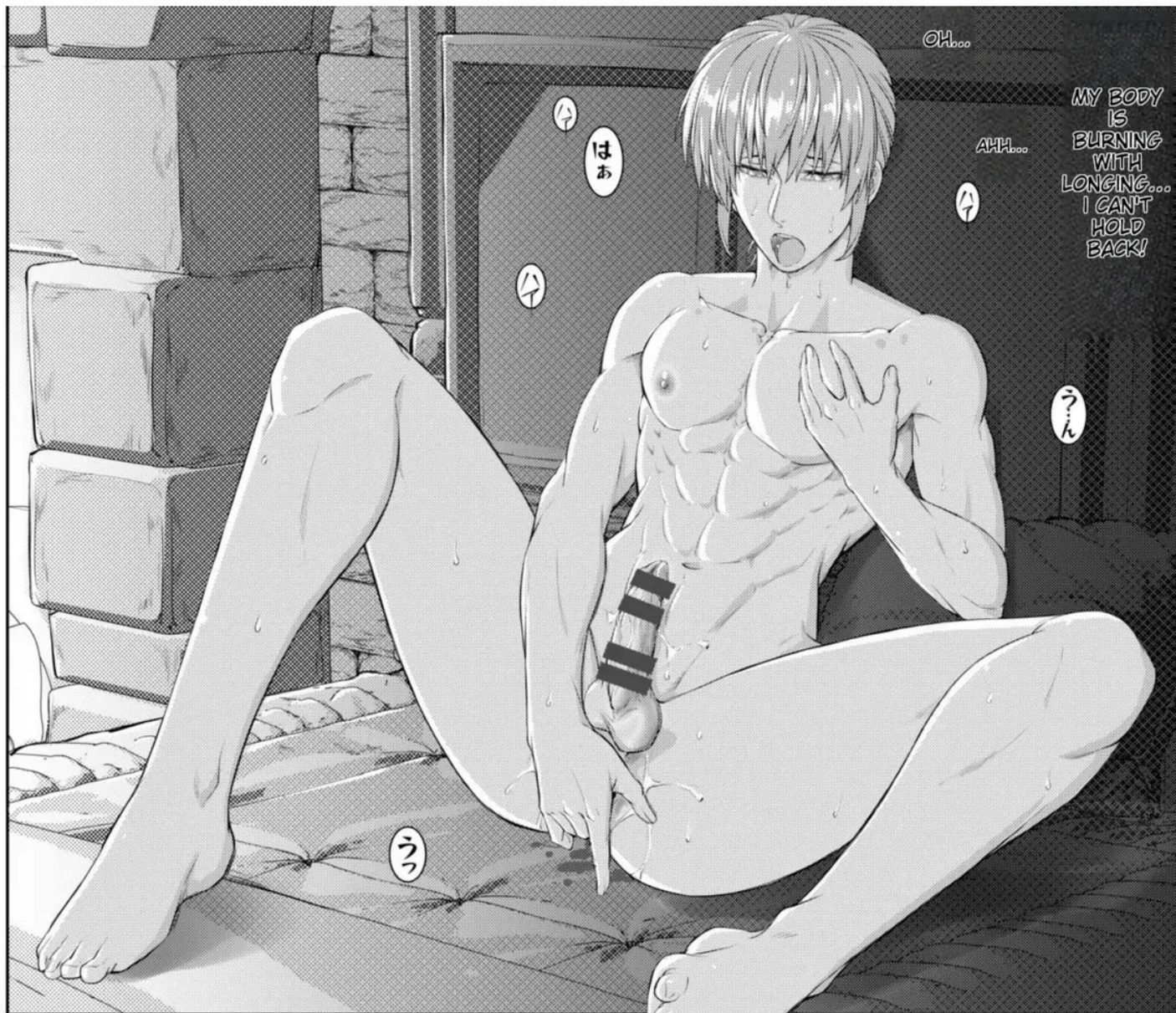
...NOT
LIKE
THIS.

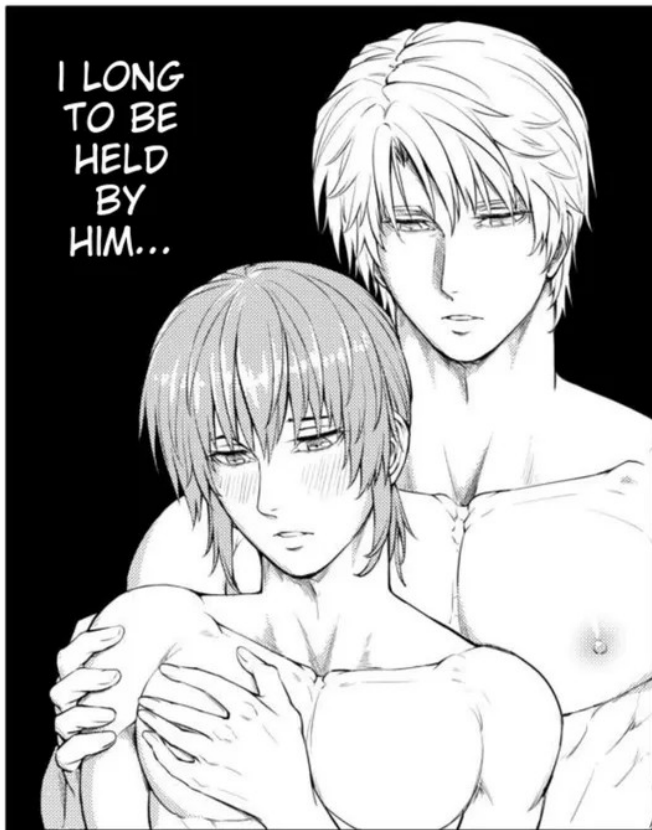


MY
BODY...
FEELS
SO
FIERY.



I
CAN'T
HOLD
BACK,
YUYA!





I LONG
TO BE
HELD
BY
HIM...



I WANT
TO...
KISS
HIM...



REYNARD!

...I
LIKE
YOU.

I LOVE
YOU SO
MUCH...

I ADORE
YOU SO
MUCH...



MM!

OHHO

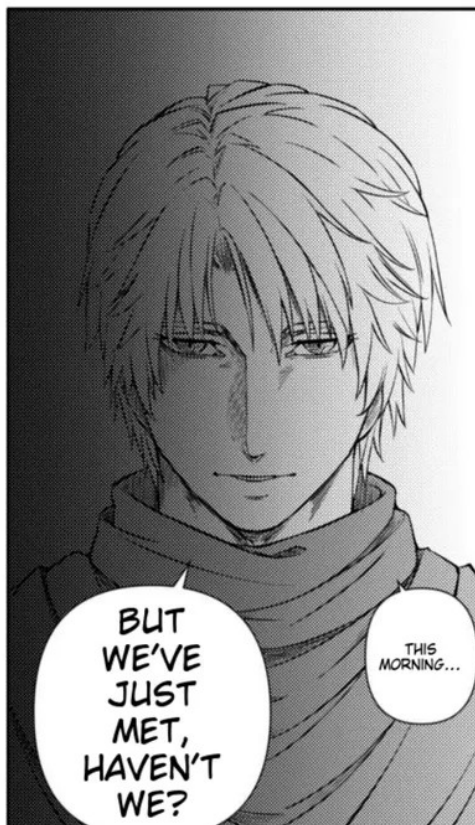
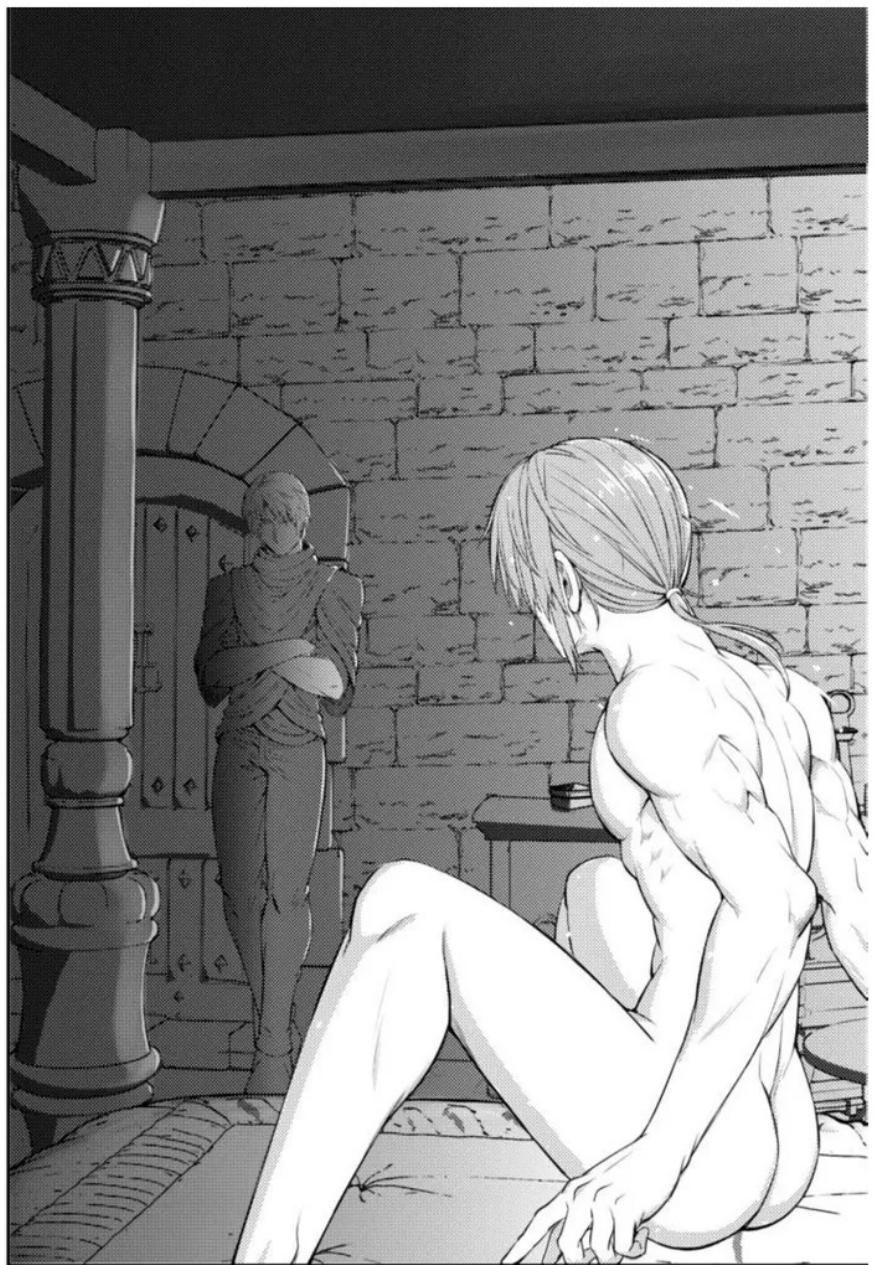
...I
GET
IT.

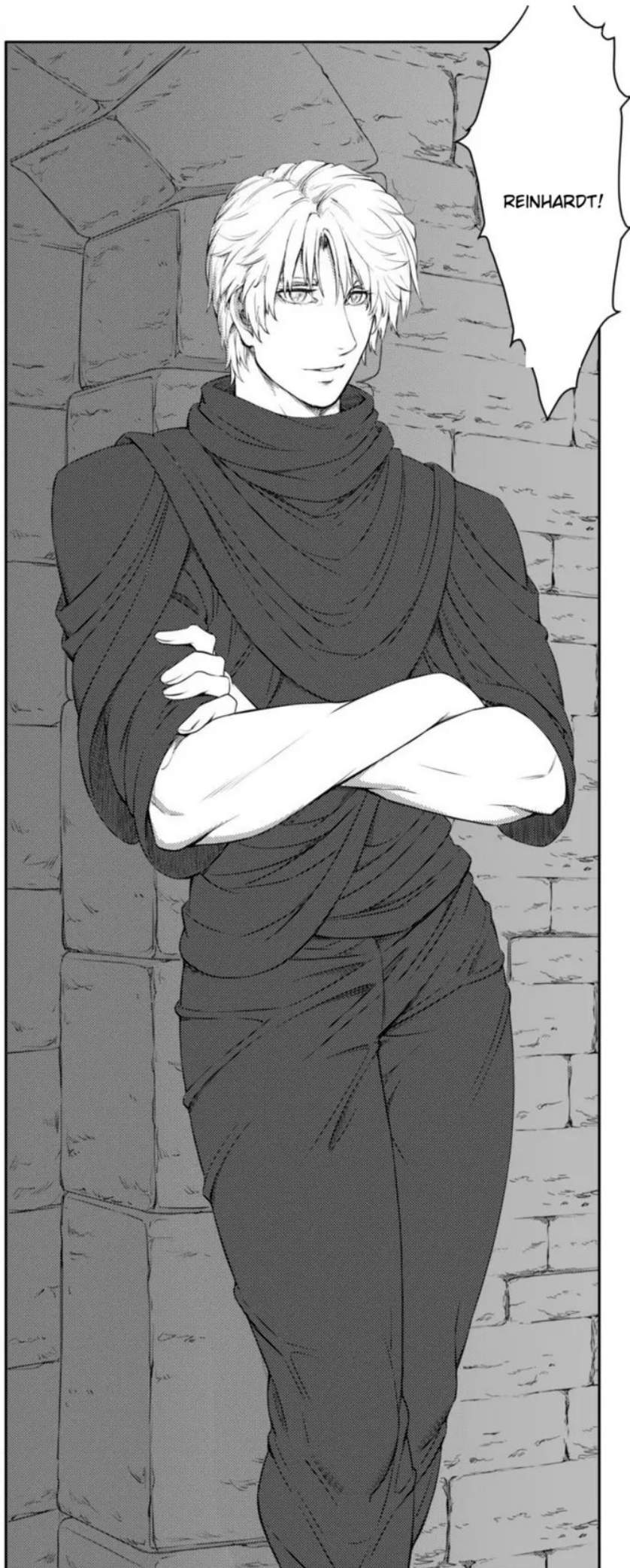
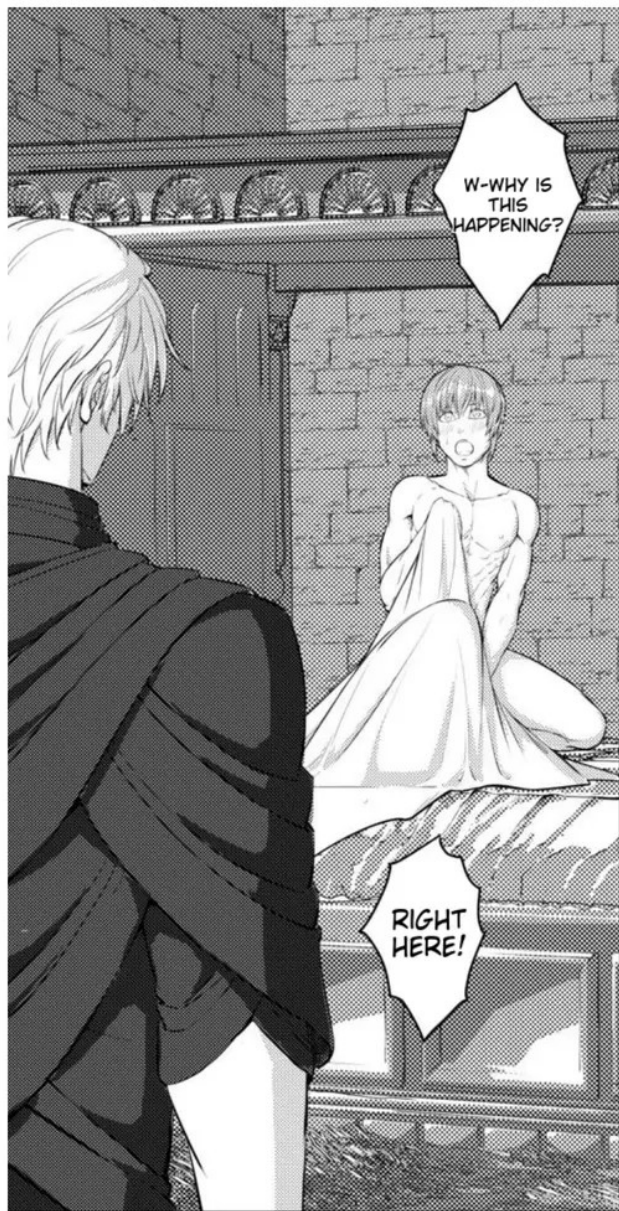
I CANNOT
INDULGE IN
SUCH
WORLDLY
AFFAIRS, FOR I
SERVE THE
DIVINE.

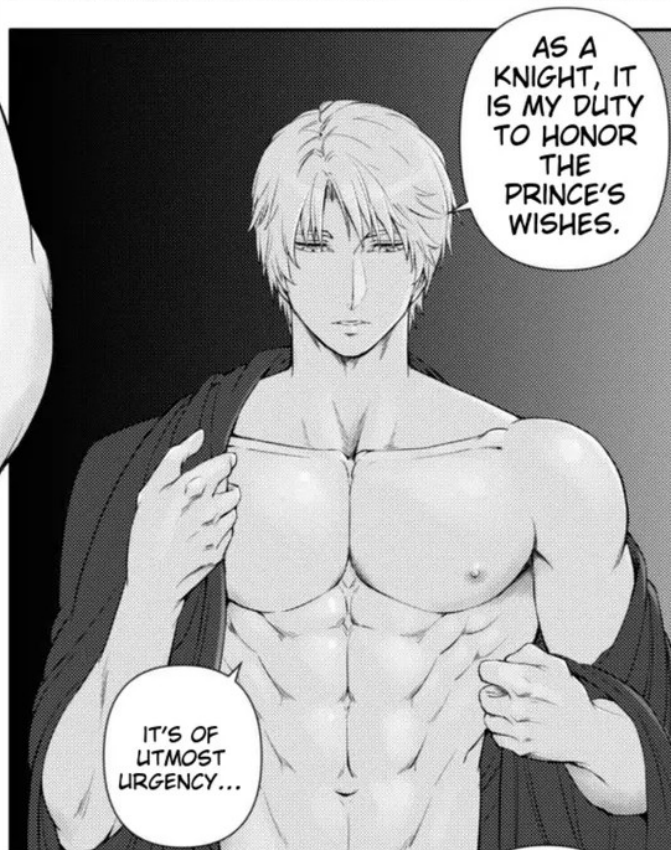
AHHO

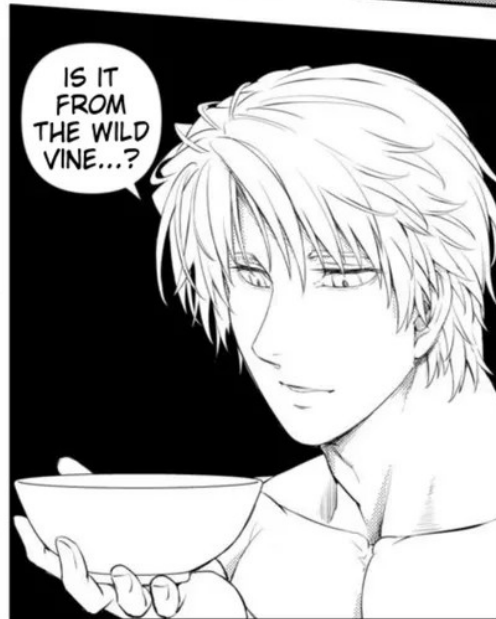
AH!























嬉しい！
気持ちいい

なのに何だろう？
この違和感は…



ハ
だけど…
しゅごく

気持ち
いい…



ヒヤ♡

何も…

そ…

ダメえ

違いは
ありません



でも…
聖騎士が…
こんなこと

今日の…
あなたは

なにか
いつもと
違う…

ア！





やっぱり
おかしい

そ……こお

そんなに
……つよ……く

アッ

体が求めて……
止められない

ン……ウ

レ……レ……
……レ……チャ

ハ
ア
ア
♡

ン……

ダメ

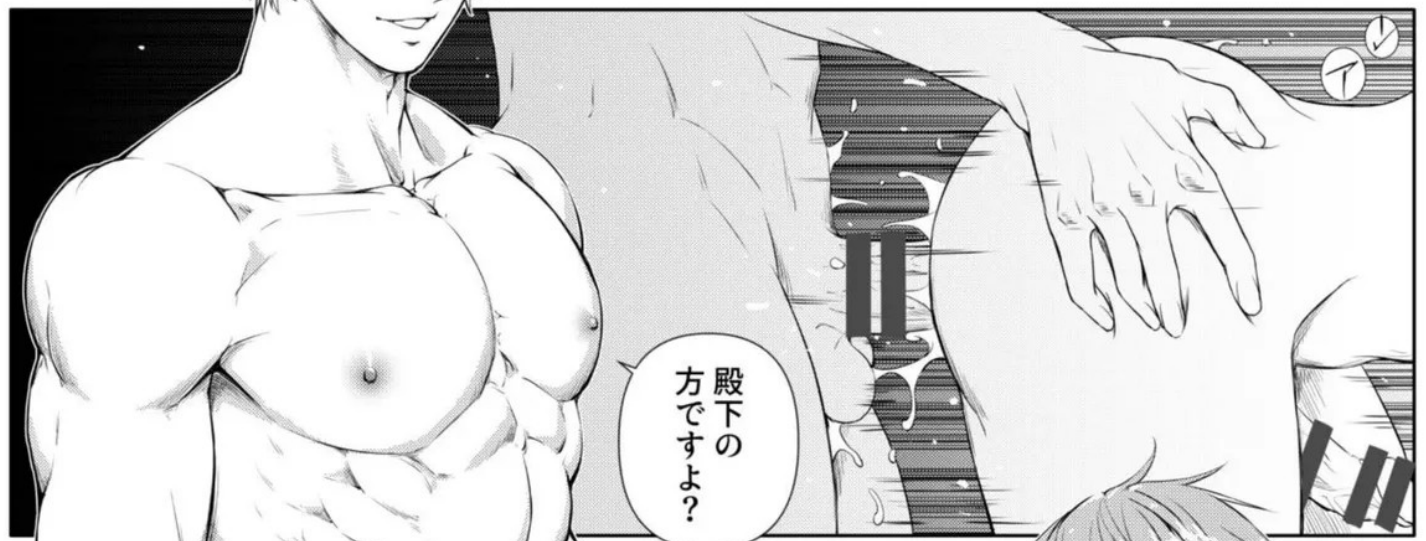
ハウ

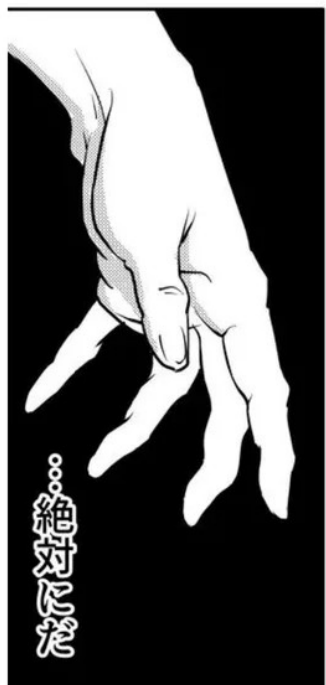
ダ……メ……エ

凄くマズい
気がする……けど

ア……ン







…情欲に流されて

あっ…

あう

何やってんだ
僕は…

…この人は
レイナードじゃない

さあ…
今度は
お口で…

ウウツ

ング…

ンツ





なかなかの
演技だった
ろう？

手薄になった
この城にも
楽々侵入できた



誰？



…ん？
おやあ…

流石に
気付いて
きたかあ



…声が！
ウッ

だが…
もう遅い
ウブツ







ま...もの...

ア

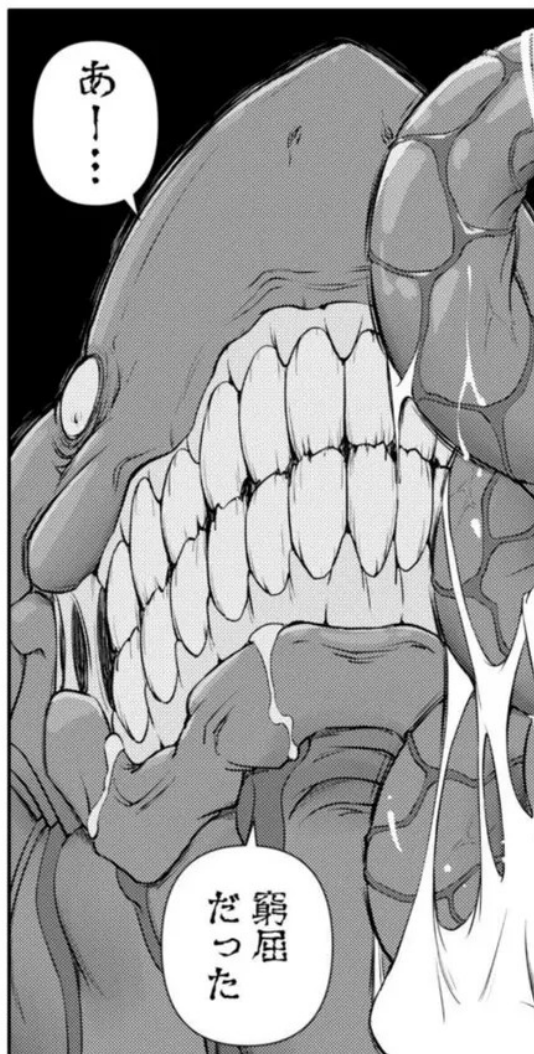
ア!

ア?



ギイイイ!

ギッ



あ!...

窮屈
だった



俺の体液を
飲んだから
なあ…



動けん
だろう？

どうだあ？



これでてめえを
好きにできるって
訳だあ王子様あ

ひあつ

んあつ

やつ…

やめつ
…てえ

はあうつ







おうっ
とっど…



忘れてたあ

フア

ハ

ハ

ハ

ハ

ヒヤ



ラ

ラメえ

ハ

ハ

乳首も
たあつぶり

苛めな
きやなあ

ハ

乳首
ラメえ



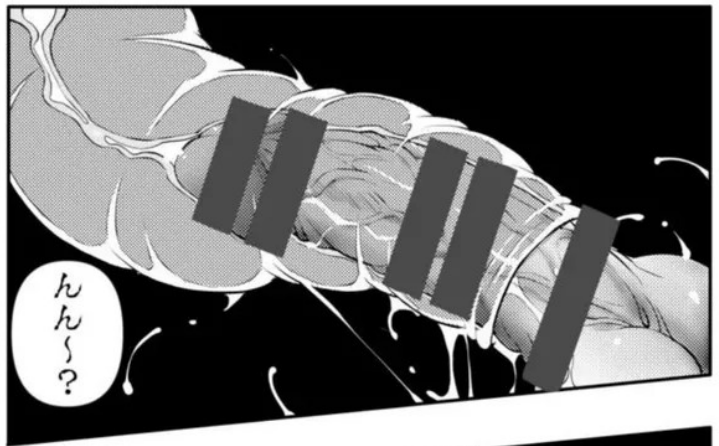
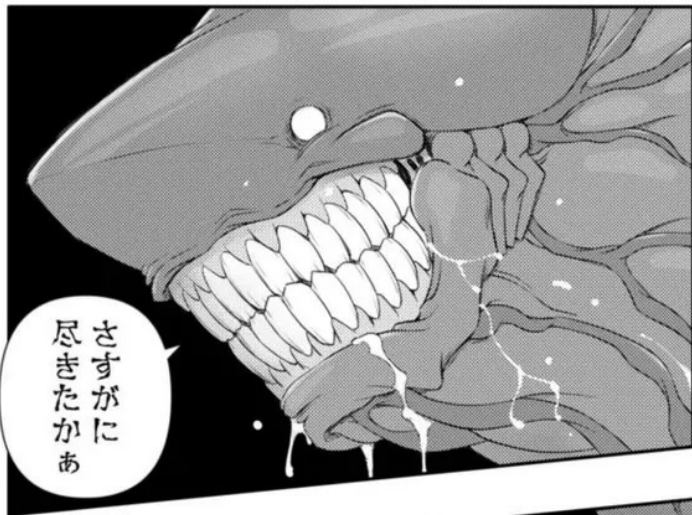
クハアッ

アッ

アッ!

ニアッ

アッ!





てめえは
黙って…

犯されて
ろつつうの！

ガ
アッ

ア
ッ

ア
アッ

ク
アッ

今から王子様の
腹ん中にい

魔紋を
刻むぞえ

ウ
ッ

そしたらてめえは
俺が与える快樂にい

抗えなく
なるう！

ヒ
ギイ

ク
フウ



まずは父王を
殺して王位を
篡奪…

悪政の限り
尽くそうかあ

愛しの
聖騎士様も

ぐちゃぐちゃに
犯してやろうぜえ



そおれ
魔紋があ

浮かんで
きたぞお！



これで
この国はあ

我が主の
ものだあ…

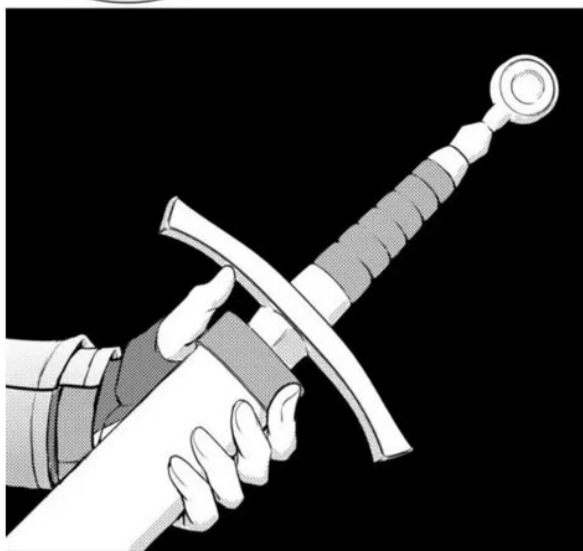




キヤハッ
また盛大に

たのち

噴き出した
なああ!



アッ

アッ

アウウ

アウウ



とめ...て

と...め

アッ

アッ



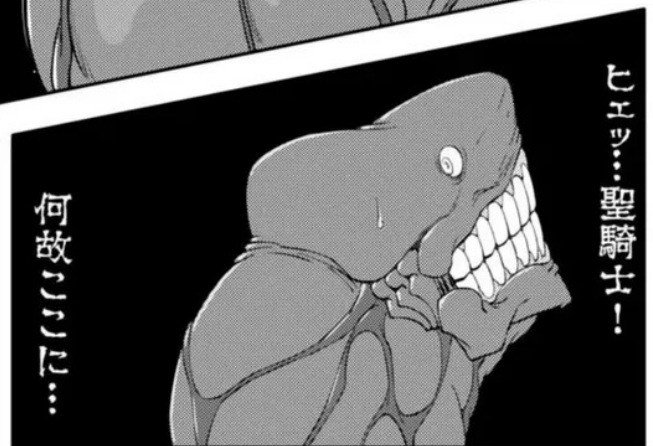
不穏な気配を
辿ってみれば…

およう？

こういう
事か…



薄汚い
化け物！



ヒェッ…聖騎士！

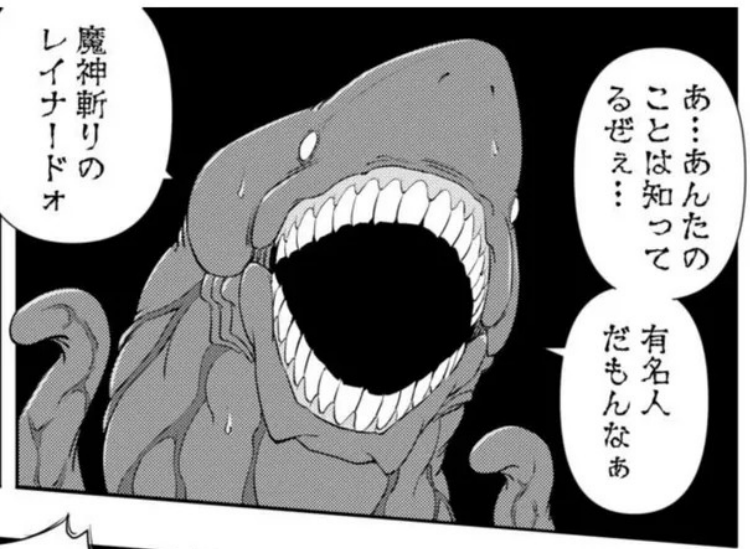
何故ここに…



殿下を
はなせ



そんなに
怒んなってえ



魔神斬りの
レイナードオ

あ：あんたの
ことは知って
るぜえ：

有名人
だもんなあ



ぜッ！



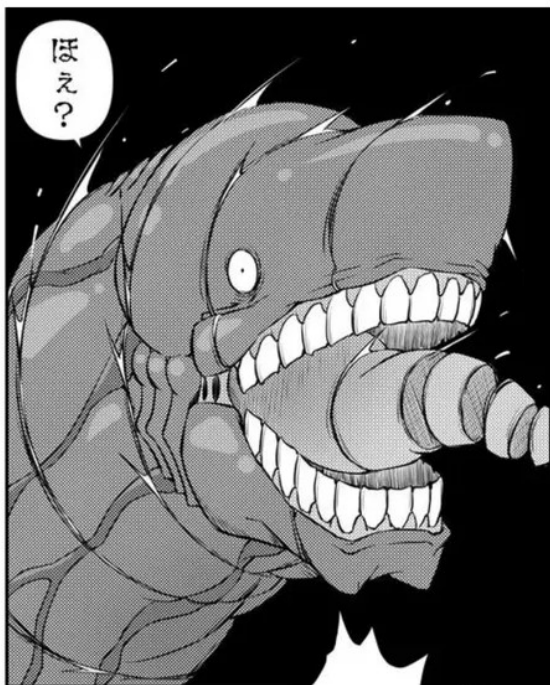
この餓鬼
はなあ：

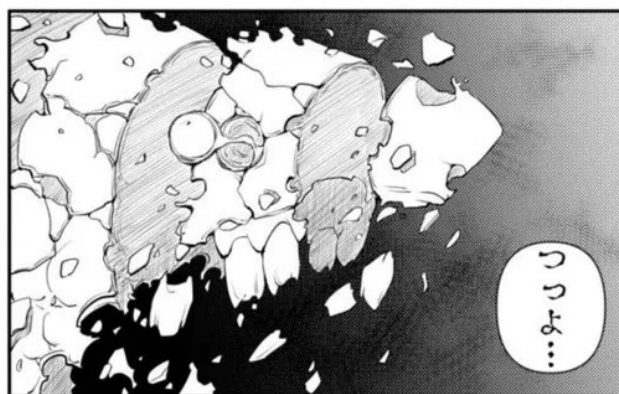
あんたを思っ
てずっと一人
で悶々とし
ていたのさ

それを俺が
慰めてやつ
てるって訳



感謝して
ほしいだ
：





そいつはなあ
レイナード



体内に刻まれた
魔紋が暴れてるのさ

満足するまで
その疼きは
止まらねえよ



安心しな…
その魔紋が
消えるまで



俺が何度でも
抱いてやるよ

殿下…

しばし
お待ちを！







人が人を
愛するは
自然の理

ご自分を
責めないで

薄々
気付いてはいた

殿下にそのような
お心があることを...

今は
ただ...

私に身を
ゆだねて
ください

そういう
お年頃に...

あ...

はう♡

んあ...

...なられたのだな



ああ…チクシヨウ

あ…はあ…
レイナード

あ…ん…
もう一度…
言って

僕のこと…
好き？

ええ…
好きです

ほんと？
本当に？

…ええ
ずっと
前から

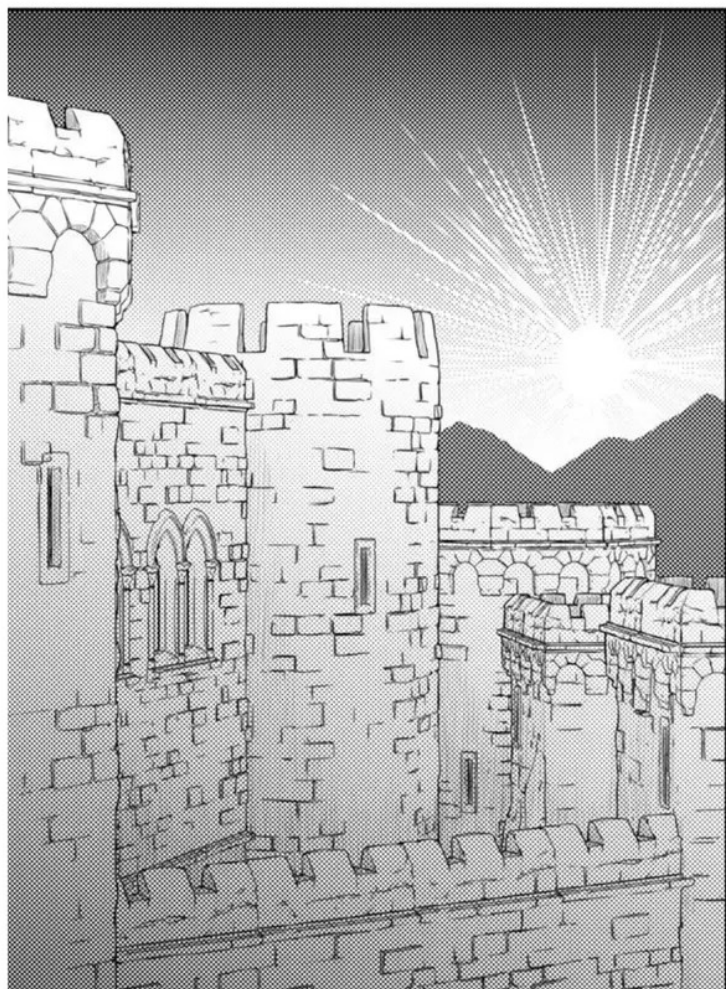
…フェリル

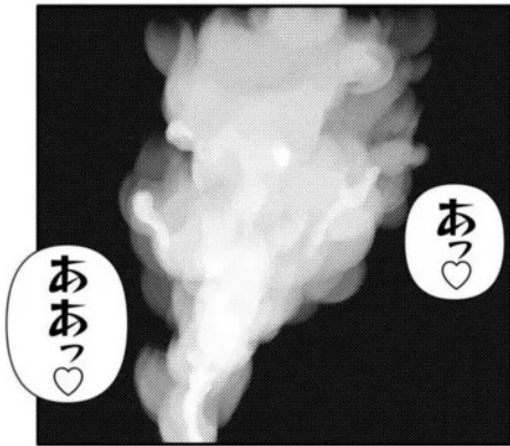
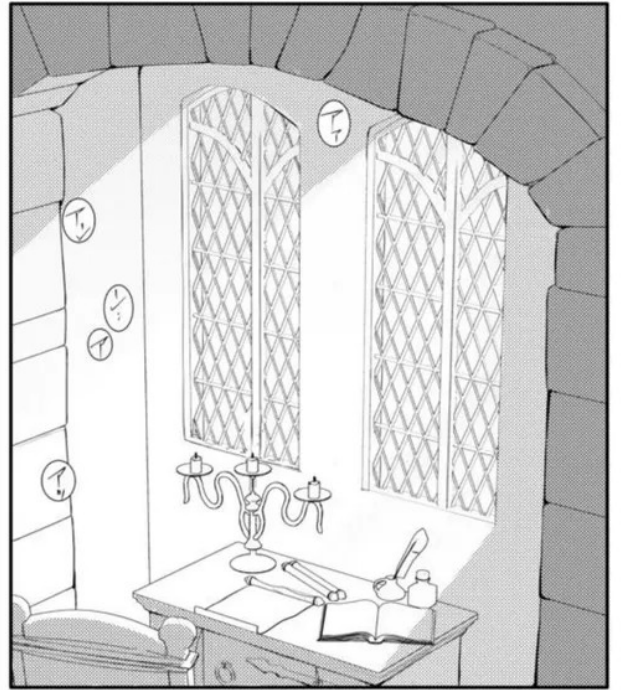
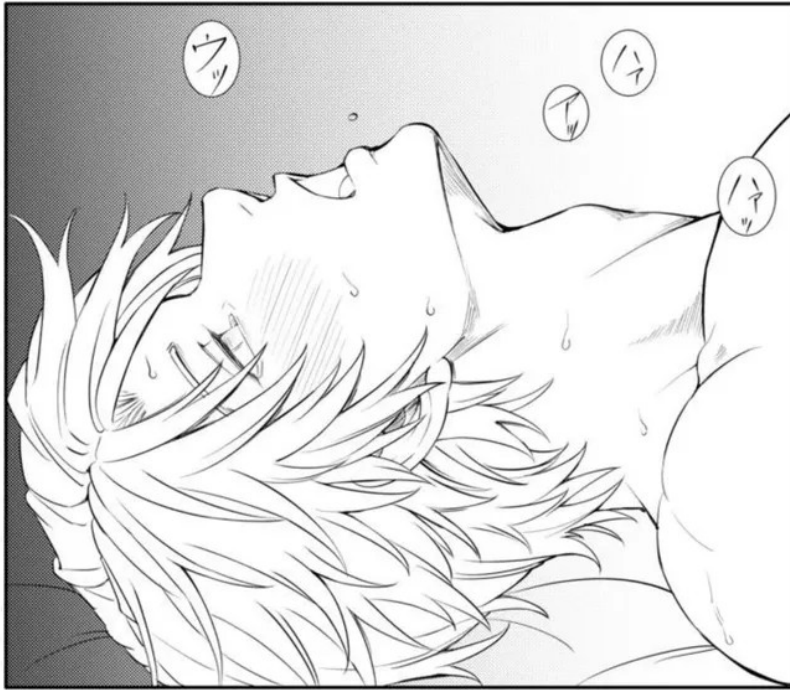
フェリル

ん…あ…
レイナードオ

…愛おしい









陛下より叙任を
賜ってから
間もない頃…

私も同じ
ような経験
をしたのです

辺境の遺跡に
住みついた
ゴブリンの群れ
の討伐

数は多いが、
決して難しい
任務では
なかった…

しかし
それは
罠でした

怠惰と色欲の魔神
ベルフェゴール

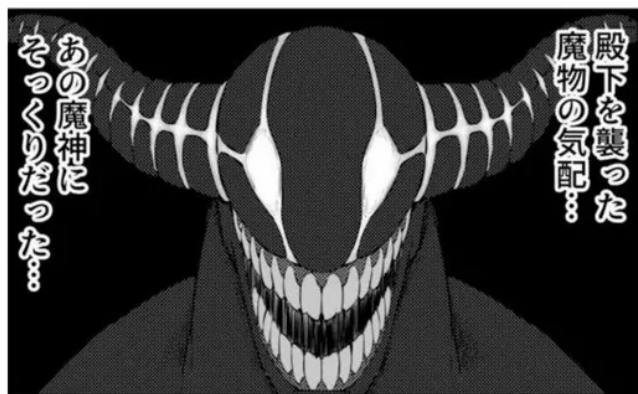
かの魔神の目的は
聖騎士の魂を墮落させ
邪悪なる神に奉げること

奴に捕らえられた私は
幾日も肉体を弄ばれ
凌辱を受け続けた





嫌な予感が的中した...



あの魔神にそっくりだった...

殿下を襲った魔物の気配...



多発する魔物の襲撃は全て揺動...

最初から王室を狙っていたのだ



あのお...

詳しく調べる必要が...

レイナードオ



ご購入
誠にありがとう
ございました

